

家畜衛生だより

令和5年3月3日発行 No.67
庄内家畜保健衛生所
庄内地区家畜畜産物衛生指導協会
TEL 0235(68)2151
FAX 0235(66)2466

管内の養豚場で日本脳炎発生！

【発生概要】

管内の養豚場で、令和4年10月から11月にかけて複数の繁殖豚で異常産が認められたため検査を行ったところ、日本脳炎による異常産と判明しました。

管内で日本脳炎が確認されたのは平成18年以来16年ぶりです。



今回確認された白子・黒子

＜日本脳炎（人獣共通感染症）＞

日本脳炎ウイルスが蚊（コガタアカイエカ）により媒介されるため、蚊の活動が活発になる夏～秋にかけて感染します。免疫を持たない母豚では異常産（白子や黒子、ミイラ等）を起こし、種雄豚では発熱、食欲減退、陰嚢腫大および交尾欲減退を起こします。異常産は9～12月に多く、発症すると経済的損失が大きい疾病です。

《予防対策》

1. 繁殖豚へのワクチン接種

蚊が活動する前（5～6月頃）にワクチンを接種することで予防できます。妊娠中や6～10月位に種付け予定の繁殖豚、種雄豚に確実に接種しましょう。

★庄内地区家畜畜産物衛生指導協会の事業で日本脳炎ワクチンの接種を行っています。接種を希望する方は庄内地区家畜畜産物衛生指導協会までお問い合わせください。

2. 蚊の対策

畜舎周囲の草刈りや水溜りを除去し、蚊の発生源を無くすように努めましょう。

家畜に異状が認められた場合は速やかに連絡してください！

庄内家畜保健衛生所：0235-68-2151（夜間・休日は緊急携帯電話へ転送）